

参考

【記載例 その1】 影響要因－環境要素関連表 道路（森林、農地、集落それぞれの通過を想定した場合）の例

影響要因	環境要素	大気質		騒音			振動		悪臭		水質		水象			土壌汚染		地形・地質		植物			動物		景観		廃棄物等		その他の環境要素											
		環境基準が設定されている物質	粉じん	その他必要な項目	騒音	振動	低周波音	悪臭	環境基準が設定されている項目及び物質	水生生物	底質	地下水質	河川及び湖沼	地下水	温泉	利水及び水面利用等	環境基準が設定されている項目及び物質	地盤沈下	地形	地質	注目すべき地形・地質	植物相	植生	土壌	注目すべき個体、集団、種及び群落	保全機能等	注目すべき種及び個体群	動物相	生態系	景観資源及び構成要素	主要な景観	触れ合い活動の場	文化財	廃棄物	残土等の副産物	温室効果ガス等	日照障害	電波障害	風害	
		区分	(具体的な要因)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
工事による影響	運搬（機材・資材・廃材等）		△△		△△																																			
	採取（資材・土砂等）	盛土材の採取	△△		△△				○	△								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○										
	樹木の伐採				△															○	○	○	○	○	○	○	△	△	○											
	土地造成（切土・盛土）		△△		△△					○	△									○	○	○	○	○	○	○	△	△	○											
	発破工事			△	△△	△	△																				△	△	△											
	掘削	トンネル、床堀（橋脚等）	△△		△△					○	△			△													△	△	△											
	杭打ち	橋脚基礎工				△△				○	△																△	△	△											
	工作物の工事	橋梁工																									△	△												
	沢等の工事	護岸工								○	△											○	○	○	○	○	△	△	○											
	舗装工事・コンクリート工事									○	△	△														△	△	△												
廃材・残土等の発生・処理		△△		△△					○	△																△	△	○												
存在・供用による影響	地形改変												△							△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎												
	樹木伐採後の状態												△							△	○	○	○	○	○	○	○	○												
	工作物の存在	高架式道路の存在等					△													△						△	△	△	◎	◎						○	○	○		
	緑化												△								△	○	○	△	○	○	○	◎	◎											
	自動車交通の発生	車両の走行	○	○	△	○	○	△																		△	△	△												
	排水	路面排水								△	△	△										△	△	△	△	△	△	△												
夜間の照明等																					△	△	△	△	△	△	◎	◎												

【△△道路建設事業における項目選定の概要】 項目選定の詳細な理由については第3章の「分類結果-理由表」を参照のこと

- ・「大気質」については、病院、学校、住宅地等が隣接して存在する箇所（3章「大気質」の○○ページの表を参照）において詳細な調査、予測及び評価が必要のため該当する項目を標準化項目に分類した。
- ・「騒音」「振動」の工事による影響については、簡略化項目としたが、「大気質」と同じ理由から、病院、学校、住宅地等が隣接して存在する箇所については調査箇所をやや多めに設定した。（調査箇所については3章「騒音」の○○ページの図を参照のこと）
- ・□□町△△地区から○○町の至る部分については、第1章で述べたとおりトンネル構造とする案と一部国道△△号を利用しながら、集落内に道路を新設する案がある。そのため、詳細な比較検討が可能となるように、「植物」、「動物」、「生態系」、「景観」等について、主に存在・供用による影響の影響要因に対し、重点化項目を幾つか設定した。

【凡例】

- ◎：重点化項目（調査、予測及び評価を詳細に行う項目）
- ：標準項目（調査、予測及び評価を標準的に行う項目）
- △：簡略化項目（調査、予測及び評価を簡略化して行う項目）
- 無記入：非選定項目（調査、予測及び評価を行わない項目）

参考

【記載例 その2】 影響要因－環境要素関連表

太陽光発電所（森林地域への立地を想定した場合）の例

影響要因		環境要素												地形・地質		植物				動物			景観			廃棄物等		その他の環境要素													
		大気質	水質	水象	土壌汚染	地形	地質	植物相	植生	土壌	保全機能等	動物相	付近に生育が確認されたクマタカ	注目すべき種及び個体群	生態系	景観資源及び構成要素	触れ合い活動の場	主要な景観	残土等の副産物	温室効果ガス等	日照障害	電波障害	風害	光害																	
区分		(具体的な要因)												地盤沈下		注目すべき地形・地質		注目すべき個体・集団、種及び群落		注目すべき種及び個体群	付近に生育が確認されたクマタカ	生態系	触れ合い活動の場	主要な景観	残土等の副産物	温室効果ガス等	日照障害	電波障害	風害	光害											
工事による影響	運搬（機材・資材・廃材等）	△	△																																						
	土地造成（切土・盛土）	△	△		△		△		△							○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○															
	樹木の伐採															○	○	○	○	○	○	○	○	△																	
	掘削	△	△				△																△	△	○																
	廃材・残土等の発生・処理	△	△				△	△								○	○	○	○	○	○	○	△	△	○																
存在・供用による影響	地形改変															△		○	○	○	○	○	○	○	○	○															
	樹木伐採後の状態															○	△		○	○	○	○	○	○	○	○															
	工作物の存在																		○	○	△	○	○	○	○	△													○		
	緑化																△		○	○	△	○	○	○	○	○													△		
	騒音・振動の発生																		○	○	○																				
	排水処理																																								
供用終了後の影響	太陽光パネル等の撤去・廃棄																																							○	△
	太陽光パネル等の撤去・廃棄後の緑化																△		○	○	△	○	○	○	○	○													△		

【項目選定の基本的な方針】 各項目の分類の詳細な理由については〇〇ページの「分類結果-理由表」を参照のこと

- ・「騒音」「振動」の工事による影響については、隣接地に病院、学校、住宅地等が存在しないため、基本的には簡略化項目としていたが、予備調査の段階で事業実施区域の周辺（位置については、△△ページの図を参照のこと）で希少野生動物であるクマタカが確認されたため、幾つかについては標準化項目とした。
- ・「水質」及び「水象」については、予備調査の結果から下流域に水道水源が確認されなかったが、今後の調査結果から、水質の変化に敏感な動植物の存在が確認又は予想された場合には、より詳細に予測・評価等を行う。
- ・「植物」については、調査の結果、注目すべき種等の存在が確認された場合は、その重要性に応じて予測及び評価を詳細に行う。また、確認された場所、個体数等の状況によっては、太陽光パネルの配置等についても再検討を行う。
- ・「動物」については、予備調査の段階で事業実施区域の周辺で希少野生動物であるクマタカが確認されていることが明らかになったため、小区分に「付近に生息が確認されたクマタカ」を追加した。なお、調査の結果、クマタカ以外の注目すべき種等が確認された場合は、その重要性に応じて調査箇所及び調査期間等の変更を行う。また、「植物」と同様に、調査結果に応じて、太陽光パネルの配置等について検討を行う。

◎	：重点化項目（調査、予測及び評価を詳細に行う項目）
○	：標準化項目（調査、予測及び評価を標準的に行う項目）
△	：簡略化項目（調査、予測及び評価を簡略化して行う項目）
無記入	：非選定項目（調査、予測及び評価を行わない項目）

